

SSKS

VOL.129

結の実通信129号

特定非営利活動法人結の実

ご挨拶

理事長 小林 輝彦

2022年6月25日に2022年度結の実通常総会が無事終了しました。新型コロナウイルス感染状況を踏まえて、3年連続で一般会員の方は書面上の参加での開催となりました。全討議事項に関して承認をいただき、無事終了したことに対して心より感謝申し上げます。しかしながら、会員の皆様から直接ご意見伺う機会が持てないことは本当に残念なことであり、この場を借りてお詫びいたします。同時に、最近感染者の増加が見られ、身近なところでも様々な影響が始めています。皆様の周りも同様かと思えます。入居者の生活を守ることを第1優先とした措置ということで、ご理解ください。会員の皆様からいただいたご意見に関しては、この通信上でご紹介する予定です。

さて、前回の結の実通信で、2022年度から開始する結の実中期事業計画について、その大枠となる5つの目標について紹介いたしました。2022年3月開催の理事会で無事承認を受け、2022年度総会で添付資料として会員の皆様にはお配りしております。私からは、この場を借りてこの中期事業計画について皆様に説明をしたいと思えます。その中でも、今回の紙面では中期事業計画一つ目

の目標である「機動力のある法人運営」について述べます。

結の実のような小規模法人のメリットは何か（何であるべきか）・・・それは意思決定の早さだと思います。実際同業の同じくらいの規模の法人だと、株式会社の形態を選択しているところが増えていますが、現在の会社法では取締役1名で会社設立が可能となっており、事業展開もスピーディーなところが多いです。それに対して結の実は、（もちろんメリットデメリット両面あるのですが）数年前まで上場企業並みの役員数で意思決定にとっても時間がかかっていました。一つの原因として、定款で定められていた役員の最低人数が多かったことが挙げられます。中期事業計画ではこの役員数に関して言及をしております。総会で定款変更を行い、条文上は法律で決められている最低人数3名となりました。現在は理事5名監事1名体制ですが、皆様とても積極的に運営にご参加いただき、スピーディーな意思決定できる状況になってきていると思います。

その他中期事業計画内では、法人会議のオンライン化の推進、ホームページの活用等挙げています。新型コロナウイルス発生当初は、感染拡大防止のため理事会が中止になることがありました。昨年度からZoomを利用した理事会や職員会議開催を行っております。ホームページに関しては、現在不具合が生じており閲覧できない状況が続いております。早急に対応するように理事会でも指摘を受けており、現在対応中です。通信の内容や求人内容の掲載、ホームの様子紹介など、適切な情報発信ができるようにしていきたいと思います。

オンライン化の推進もホームページも他法人ではすでに当たり前のことなのかもしれません。しかしながら、この1つ目の目標は、他の4つの中期目標に取り組むために必要な足固め、基盤整備ととらえております。一つ一つ着実に取り組んでいきたいと思います。

法人目的

結の実は地域の障害がある人々や子どもたち、高齢者などに対して、必要とする福祉サービス等を提供し、社会的・経済的自立を支援するとともに、社会参加促進に関する事業を行い、障害の種類・程度に関わらず、すべての人々がゆたかに暮らせる地域社会づくりと福祉の増進に寄与することを目的としています。

グループホーム運営方針

- ① 障がいの程度にかかわらず、入居者が健康で自立した生活が営めるように支援を行なう。
- ② 入居者の個性を理解し、それぞれの入居者が今まで営んできた生活環境を尊重した支援を行なう。
- ③ 入居者の人権を擁護し、就労や社会参加等充実した社会生活が送れるように、関係施設や地域と連携していく。

法人沿革

- 1988年9月 課外グループ「生活ホーム結」設立
- 1991年4月 通所訓練の場「通所施設・結」開所
- 1994年7月 宿泊訓練「生活ホーム・結」開始
- 2001年9月 「特定非営利活動法人 結の実」認可
- 2004年4月 男性ホーム「ホーム・まな」を開所
- 2008年3月 女性ホーム「ホーム・ゆい」を開所

「 こだわり 」

皆さんは何かこだわっていることはありますか？「障がいを持っている方にはこだわりの強い方が多い」と感じている障がい福祉関係職員は多いと思います。でも障がいのあるないに関わらず、こだわりもっている方は多いのではないのでしょうか？人のことは言えないと思いつつ、生活の場ならではの細かなこだわりを紹介することで、まな、ゆいの様子を感じていただければと思います。

最初はゆいのNさん。彼女は食事にこだわりがあります(他にもこだわりがありますが)。最初は汁物の汁から、お気に入りの具があれば取り出し白米の上へ、右利きなのにたまに左手で箸をもつこだわりもあり、おかずは細かく分けて確認作業をしたうえで食べています。そんなことをしていると、1時間くらいかかりますが、彼女は食事の時間が大好きです。

次はまなのYさん。彼にも色々こだわりがありますが、今回は移動のこだわり紹介。職員が、「歯磨き行きましょう」など声かけするのですが、すぐに動かないことがあります。動きたくないのではなく、動く時に自分で決めたルートでないと動けない様子です。そ



の場で回転してから動く、右回りではなく左回りに移動するなど日変わりでそのこだわりが変化するので、その内容を見抜くのが難しいです。

ゆいのMさんは他の入居者や職員にお手紙渡すこだわりがあります。2階から階段を降りるときに、ドンドンガシャガシャと大きな音を立てるこだわりもあります。初めての方は、何かあったのではないかと戸惑うくらいの音です。仕事に行く前に部屋に飾ってあるポスターのキャラクターや玄関に貼ってあるイルカの絵に挨拶してから行くこだわりもあります。とてもにぎやかなこだわりがたくさんある方です。

こだわりも、理解するまでに時間がかかりますが、慣れてくるとそれぞれの個性と感じます。また、何かの機会に続きを紹介できればと思います。

結の実 2022年度通常総会開催報告

2022年6月25日に結の実通常総会が開催されました。昨年に引き続き、書面上での開催でしたが、会員の皆様のおかげで全討議事項に承認をいただくことができました。この場では、会員の皆様からいただいたご意見をご報告したいと思います。

☆ 前向きに取り組んでいらして、その意識的な取り組みに拍手を送りたいです。職員の立場に立って考えてしまいますが、（自分が職員だったため）メンタル部分と生活部分の重要性を認識していただけていましたら、良い職場だなと思います。職員にゆとりがあってこそ笑顔で穏やかな支援が行えるのではと感じています。宜しく願いします。応援しています。

➤ ご意見ありがとうございます。職員が「ゆとり」をもって「笑顔」でいられるように引き続き努力していきたいと思います。今後とも応援よろしく願います。

☆ 達成に向けて頑張られて下さい。出来ればホームページ・広報誌 etc で(事業計画の)進捗状況をお知らせ下さい。

➤ ご意見ありがとうございます。事業計画の進捗状況については、都度報告させていただく予定です。ホームページは現在リニューアル準備中なので、もう少しお待ちください。

☆ コロナ感染拡大の中、変わらず生活支援をしていただきありがとうございます。女性職員が定着されるよう願います。利用者の高齢化により支援の体制も変わると思われます。職員が疲弊しないよう環境整備とフォローを期待します。

➤ ご意見ありがとうございます。職員が定着する(職場に魅力を感じていただけ)ことはとても大切だと思います。生活の場ということで、入居者の皆さんのことを、長い目で支援していけるようにしていきたいです。

2回目となるホーム職員紹介。今回は、まな非常勤職員の山口敬文さんです。

「食事提供のこだわり」

私はもともと料理が好きなので、自宅でもよく作りますが、まなでの食事提供は、味はもちろん、カロリーのこと、食べやすい食材、入居者の皆さんの好みを考えて作っています。最近ではYoutubeを観て、プロのシェフのテクニックなども取り入れつつ、自宅で試した上で、まなでの食事提供にも活かしています。

とりわけ最近こだわっているのは、入居者の皆さん大好きなカレーです。とはいえ、市販のカレールウを使えば簡単なのですが、油脂の成分が多いので、スパイスカレーに取り組んでいます。買い物に行くスーパーでも、最近は個別のスパイスが売っていますので、それらを組み合わせて調味料はカレー粉とスパイスと塩のみのシンプルかつヘルシーなカレーを目指しています。もちろん、入居者の皆さんに合わせて辛くならないように、また材料も玉ねぎをはじめ、セロリのみじん切り、にんじんのすり下ろし、ホールトマトなど、野菜の旨味で味わい深く作るようにしています。

そうすると、調理している最中にも、入居者さんから「今日はカレーですか？」の声も聞こえてきます。夏の暑い時期などでも、スパイスを油で炒めた時の香りで、一気に食欲が湧きます。入居者さんの通所先のメニュー、まなでの勤務前後のメニューも考慮しつつ、私の日はだいたい二週間に一度くらいスパイスカレーを作るようにしています。

また、最近では朝食も作るようになりましたので、朝食ではお粥を作ることが増えてきました。お粥は、朝の忙しい時間帯にサッと食べられて、消化も良く、具材や出汁を工夫すれば美味しいし栄養もあり、洗い物も少ない。これらに気づき、色々なバリエーションのお粥を研究しています。

鰹出汁の一般的なたまごのおじやの週もあれば、干しエビや貝柱を使い、ごま油を効かせた中華風のお粥、ベーコンやウィンナーを使ってコンソメ出汁のお粥。それらにほうれん草や小松菜、きのこなどをプラスしたらお粥も立派なごちそうに変わります。提供するときに熱々ですと、危険ですので冷めても美味しい味を目指しています。

私も入居者の皆さんと同じ世代で、健康にとっても気をつけていきたい年頃なので、これからも入居者の皆さんと共に、美味しく、ヘルシーで安全な食事提供を心がけたいと思います。

寄付 4名 （2022年3月27日～2022年7月10日）

葛生禎子 桑原靖 田島孝子 F・I

2022年度 更新会員 51名 （2022年4月1日～2022年7月10日）

安達利恵子 市村たづ子 入山公子 岩浅和美 岩浅義昭 榎本節子
大里規子 大西元 大西常子 葛生禎子 桑原靖 桑原光代
桑原直也 桑原利幸 坂口聖子 貞富篤信 貞富加代子 貞富護
貞富久美子 貞富結菜 貞富和希 清水千加子 鈴木美恵子 田島孝子
鳥谷トモ 成沢超子 難波英勝 難波雅英 難波道子 野本きみ子
橋本和子 廣瀬礼子 藤田浩子 藤平則夫 藤巻秀子 増田一郎
御園由美子 三宅康史 宮嶋寿美江 宮嶋利明 柳沼恵一 柳沼幸子
柳沼秀彦 安田靖子 山口久子 山本隆弘 山本剛 山本由美子
山本康博 吉村光子 小林輝彦

2022年度 新規会員 2名 （2022年4月1日～2022年7月10日）

大西一一 仁木眞知子

（順不同・敬称略）

☆ご支援まことにありがとうございました☆

特定非営利活動法人結の実の法人理念や事業運営方針の趣旨にご賛同いただき、ご支援して下さる方々の入会及び寄付をお願い申し上げます。

年会費 2000円

郵便振替口座 00110-2-355729

口座名義

特定非営利活動法人結の実

* 郵便振替用紙に、お名前・住所・電話番号・〇〇年度会費として、のご記入をお願いします。

* 入会時期に関わらず、会員資格は年度ごとの更新となります。

事務局からのお知らせ

☆ 2021年度第6回理事会が2022年3月26日に開催されました。

- ① 2021年度4月～12月会計報告について
 - ② 結の実非常勤職員就業規則の改正について
 - ③ 結の実2022年度事業計画案について
 - ④ 虐待防止委員、身体拘束適正化委員の選任について
 - ⑤ 結の実中期事業計画案について
 - ⑥ 新規GH設立計画書1次案について
- 議題①、②、④、⑤に関して承認されました。
議題③、⑥に関して継続審議となりました。

☆2022年5月10日に税理士による会計外部監査、5月21日と23日に監事による内部監査（会計監査、事業監査）が行われました。

☆2022年度第1回理事会が2022年5月28日に開催されました。

- ① 2021年度決算報告書案、事業報告書案について
 - ② 2022年度収支予算案、事業計画書案について
 - ③ 新規GH設立計画書1次案(修正版)について
- 議題①②に関して承認されました。
議題③に関して継続審議となりました。

☆2022年度通常総会が2022年6月25日に開催されました。

- ① 結の実2021年度事業報告(案)、決算報告(案)について
 - ② 結の実2022年度事業計画(案)、収支予算(案)について
- 議題①②に関して承認されました。

結の実通信 129号

『編集』特定非営利活動法人結の実 事務局

〒194-0046 東京都町田市西成瀬 1-39-13

TEL/FAX : 042-725-8693

E-mail : yuinomi@star.ocn.ne.jp

ホームページ <http://yuinomi.com>

『発行』特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷 102号室

TEL : 03-6277-9611 FAX : 03-6277-9555 定価 50円